

令和5年度

和歌山県消防学校教育訓練実施要領



和歌山県消防学校



校訓

誠心

闘志

知性

和歌山県消防学校

校歌

作詞 山下 わたる
作曲 泉 真佐男

一 緑なす 希望の丘に

わが学舎は真白に映える

自活の守りを生命と決めて

共に磨かん 知性と業を

おお 和歌山県消防学校

二 みはるかす 大地を蹴って

いま明朗に朝日は昇ぼる

ゆくて遮る水火も辞せず

血潮たぎらす 熱意と闘志

おお 和歌山県消防学校

三 咲き匂う 奉仕の庭に

いざ誠心の気をもて生きん

風にはためく校旗を仰ぎ

つどう精鋭 誇りは規律

おお 和歌山県消防学校

目 次

1	教育訓練の基本方針及び目的	1
2	教育訓練実施計画表	2
3	教育種類別教科目及び時間数	
(1)	消防職員	
ア	初任教育	
	初任教育第47期	3
イ	専科教育	
(ア)	特殊災害科第6期	8
(イ)	救急科第27期	9
(ウ)	救助科第20期	10
ウ	幹部教育	
	初級幹部科第22期	11
エ	特別教育	
(ア)	無線通信教育	12
(イ)	潜水救助教育第6期	13
(ウ)	消防操法指導員教育第3期	14
(エ)	救急隊長教育第3期	15
(2)	消防団員	
ア	専科教育	
	機関科第11期	16
イ	幹部教育 指揮幹部科	
(ア)	現場指揮課程第7期	17
(イ)	分団指揮課程第5期	17
ウ	特別教育	
(ア)	基礎教育第10期、第11期	18
(イ)	自然災害対応教育第5期	19
(3)	特別教育	
	自衛消防隊幹部教育第12期	20
4	教育種別毎の入校対象者	21
5	入校経費	22
6	入校申込要領等	23
	入校手続事務処理要領(別表)	24
	入校申込要領について(参考)	25
7	服装及び携行品	26
8	その他	27

【各種様式】

(1)	入 校 申 込 書(別記第1号様式 消防職団員用)	28
(2)	履 歴 書(別記第2号様式 消防職員用)	29
(3)	履 歴 書(別記第2号様式 消防職・団員を除く)	31
(4)	入 校 学 生 名 簿(様式第1号 初任教育)	32
(5)	入 校 学 生 名 簿(様式第2号 初任教育を除くすべての教育)	33
(6)	事 例 討 議 資 料(様式第3号)	34
(7)	健 康 診 断 書(様式第4号)	35
	【消防学校へのアクセス】	36

1 令和5年度 教育訓練の基本方針及び目的

和歌山県消防学校

1 基本方針

消防職員、消防団員等を対象として、消防の責務を正しく認識させるとともに、消防人として必要な人格の向上、学術、技能の修得、体力、気力の練成、規律の保持、協同精神の醸成を図り、もって公正明朗かつ能率的に職務を遂行し得るよう、その資質を高めることを目的として各種教育訓練を実施する。

2 教育訓練の目的

学 科		教育訓練目的		
消 防 職 員	初任教育（第47期）		県内消防本部において、新たに採用された消防職員を対象として、消防職員として必要な基礎的教育訓練を行う。 なお、教育期間中に第2級陸上特殊無線技士免許取得のための講習を併せて実施する。	
	専科教育	特殊災害科（第6期）	多数の死傷者を発生させる恐れが高く、消防活動に困難を伴う災害現場において、指揮者として適切・効果的な消防戦術を指揮できるよう専門知識及び技能の修得を図るために実施する。	
		救急科（第27期）	新たに救急業務に従事することとなる消防職員に対し、「救急隊員の行う応急処置の基準」（昭和53年消防庁告示第2号）に規定する応急処置等を行う事ができる救急隊員を養成するために実施する。	
		救助科（第20期）	現任消防職員を対象として、救助に関する専門知識の向上と技能の修得を図るために実施する。	
	幹部教育	初級幹部科（第22期）	消防士長及び消防副士長の階級にある者を対象として、初級幹部として必要な知識及び指揮監督能力の向上を図るために実施する。	
	特別教育	無線通信教育		現任職員を対象として、第2級陸上特殊無線技士免許取得のための講習を実施する。
		潜水救助教育（第6期）		潜水土免許（国家資格）取得者を対象として、潜水救助に関する専門的知識の向上と技能の修得を図るために実施する。
		消防操法指導員教育（第3期）		消防団員の指導に当たる消防職員を対象として、指導者として必要な知識及び指導能力の向上を図るために実施する。
		救急隊長教育（第3期）		救急隊長を対象として、必要な知識及び指揮監督能力の向上並びに連携能力、コミュニケーション能力を養うために実施する。
	消 防 団 員	専科教育 機関科（第11期）		現任消防団員を対象として、専門的な知識、技能の修得を図るために実施する。
幹部教育 指揮幹部科 現場指揮課程（第7期） 分団指揮課程（第5期）		部長と同等の実務経験のある班長以上の階級にある者を対象とし、現場指揮課程は、災害時における現場指揮者としての職責を自覚し、現場指揮及び安全管理の知識及び技術を養うために、分団指揮課程は、分団の指揮者としての職責を自覚し、消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識を養うために実施する。		
特別教育		基礎教育（第10、11期）		任用後、経験期間の短い消防団員を対象として、基礎的な知識、技能の修得を図るために実施する。
		自然災害対応教育（第5期）		現任消防団員を対象として、各種自然災害対応に関する専門的知識の向上と技能の修得を図るために実施する。
特別教育	自衛消防隊教育	幹部教育（第12期）	和歌山県石油コンビナート等防災本部の要請により、石油コンビナート等災害防止法第16条の規定に基づく特定事業所並びに危険物大量取扱事業所等の自衛消防隊隊員を対象として、消防知識と技術の向上を図るために実施する。	
そ の 他		市町村等から要請があった場合、教育訓練計画の実施に支障のない限りにおいて実施する。		

2 令和5年度 教育訓練実施計画表

区分	教育種別	教育期間	日数 (休祝日含)	教育時間数	5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	備考		
消防職員	初任教育(第47期)		4/10(月)~9/15(金)	159	876	10<					>15						寮・健		
	専科教育	特殊災害科(第6期)	10/18(水)~10/26(木)	9	56							18~26						寮	
		救急科(第27期)	2/5(月)~3/26(火)	51	272											5<	>26	寮	
		救助科(第20期)	11/8(水)~12/5(火)	28	152								8<	>5				寮	
	幹部教育	初級幹部科(第22期)	1/9(火)~1/19(金)	11	72									9~19				寮	
	特別教育	無線通信教育		5/11(木)、5/12(金)	2	11		11、12											通(初任教育併設)
		※第1回潜水救助指導教官研修会		7/3(月)~7/7(金)	5	40				3~7									寮等
		※第2回潜水救助指導教官研修会		9/25(月)~9/27(水)	3	24						25~27							寮
		潜水救助教育(第6期)		9/28(木)~10/12(木)	15	80						28<	>12						寮・健
		消防操法指導員教育(第3期)		12/14(木)、12/15(金)	2	16								14、15					寮
救急隊長教育(第3期)		1/30(火)、1/31(水)	2	16										30、31			寮		
消防団員	専科教育	機関科(第11期)	12/16(土)、12/17(日)	2	16								16、17				寮		
	幹部教育	指揮幹部科 現場指揮課程(第7期) 分団指揮課程(第5期)	10/30(月)、10/31(火)	2	16						30、31						寮		
	特別教育	基礎教育(第10、11期)	10/15(日)、12/10(日)	2	16							15		10				通	
		自然災害対応教育(第5期)	10/29(日)	1	8							29						通	
特別教育	自衛消防隊 幹部教育(第12期)		1/23(火)~1/26(金)	4	32								23~26				寮		
要請があった場合の講師派遣		12月~3月																	

※ 備考欄の「寮」は全寮制、「通」は通学制、「健」は健康診断書が必要な教育です。

3 令和5年度 教育種類別教科目及び時間数

(1) 消防職員

ア 初任教育

初任教育第47期

実施期間：令和5年4月10日(月)～令和5年9月15日(金)

教育日数：159日

教育時間：876時間

種 目	教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	
			時 間 数	時 間 配 分
基礎教育	倫 理	現 代 社 会 と 消 防	5	2
		地 域 社 会 と 消 防		2
		消 防 職 員 の 使 命		1
	法 学 基 礎 ・ 消 防 法	消 防 行 政 と 法	20	8
		法 の 分 類		
		法 の 効 果 と 適 用		
		法 律 関 係		
		行 政 法		
		法 の 体 系		
		消 防 法 の 目 的		11
	消 防 組 織 制 度	主 要 規 定 の 概 要	9	1
		効 果 測 定		
		地 方 自 治 制 度		8
	自 治 体 消 防 制 度			
	72 時間	服 務 と 勤 務	消 防 の 組 織	28
効 果 測 定			1	
地 方 公 務 員 制 度			3	
効 果 測 定			3	
消 防 実 務			1	
消 防 職 員 の 勤 務 条 件			1	
文 書 実 務			1	
情 報 公 開 と 個 人 情 報 保 護			3	
女 性 消 防 職 員 の 勤 務			2	
税 に つ い て			2	
接 遇			3	
事 故 防 止 (交 通 安 全)		2		
人 権 啓 発	2			
消 防 英 語	3			
理 化 学	物 理 ・ 化 学 ・ 燃 焼 と 消 火	10	9	
	効 果 測 定		1	

種 目	教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	
			時 間 数	時 間 配 分
実務教育	予 防 広 報	防 火 管 理 の 意 義	20	6
		防 火 ・ 防 火 管 理 制 度		
		統 括 防 火 ・ 防 災 管 理 制 度		
		消 防 広 報		
		自 主 防 災		
		効 果 測 定		
	危 険 物	消 防 法 上 の 危 険 物	8	7
		危 険 物 施 設 の 規 制		
		指 定 可 燃 物		
	消 防 用 設 備	効 果 測 定	12	11
		消 防 設 備 等 の 規 制 概 要		
		主 要 な 消 防 用 設 備 等 の 基 準 概 要		
		消 防 用 設 備 等 の 着 工 届 及 び 検 査 等		
	査 察	効 果 測 定	27	26
		総 則		
		査 察 要 領		
		違 反 処 理		
		定 期 点 検 報 告 要 領		
	建 築	査 察 実 習	10	9
		効 果 測 定		
		総 則		
		建 築 構 造		
		建 築 法 令 制		
		建 築 規 制		
		消 防 活 動 上 の 規 制		
	安 全 管 理	建 築 図 書	16	13
		効 果 測 定		
安 全 管 理 の 概 要				
業 務 活 動 別 の 安 全 管 理				
特 殊 災 害 と 保 安	精 神 衛 生	10	3	
	効 果 測 定			
	特 殊 災 害 の 概 要			
	特 殊 災 害 の 基 礎 知 識 と 活 動 要 領			
	ガ ス 災 害			
	火 災 薬 物			
	毒 劇 物			
火 災 防 ぎ よ	電 気 災 害	30	29	
	効 果 測 定			
	火 災			
	火 災 防 ぎ よ の 概 要			
	火 災 防 ぎ よ の 行 動			
	建 物 火 災 防 ぎ よ			
火 災 調 査	建 物 以 外 の 火 災 防 ぎ よ	15	14	
	効 果 測 定			
	火 災 原 因 調 査			
	火 災 損 害 調 査			
	火 災 調 査 書 類	1	1	
	効 果 測 定			

種 目	教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	
			時 間 数	時 間 配 分
実務教育 231 時間	防	災 害 対 策	23	3
		気 象 と 災 害		2
		土 砂 災 害		3
		水 防 工 法 訓 練		4
		水 災 防 ぎ よ		2
		石油コンビナート等災害防止法		2
		地震対策・減災教室		6
		効 果 測 定		1
	救	概 要	50	4
		人 体 知 識		15
		応 急 処 置 法		15
		病 態 別 応 急 処 置		9
		救 急 実 習 及 び 関 係 法 令		3
		応 急 手 当 普 及 啓 発		3
		効 果 測 定		1
	消 防 機 械 ・ ポ ン プ	消 防 用 自 動 車 等	10	1
		消 防 通 信		2
		消 防 ポ ン プ		3
		水 力 学		
		ポ ン プ 運 用		3
		効 果 測 定		1

種 目	教 科 目	教 科 細 目	時 間 数		
			時 間 数	時 間 配 分	
実科訓練	訓 練 礼 式	訓 練 礼 式 の 概 要	50	46	
		各 個 訓 練			
		通 常 点 検			
		敬 礼 動 作			
		辞 令 等 の 受 領			
		小 隊 訓 練			
		申 告 等			
	効 果 測 定	4			
	消 防 活 動 訓 練	訓 練 の 概 要	82	74	
		ポ ン プ 自 動 車			
		放 水 訓 練			
		検 索 及 び 救 助 訓 練			
		警 戒 区 域 設 定			
		現 場 工 法 訓 練			
	ポ ン プ 操 法 訓 練	8			
	救 助 訓 練	概 要	45	44	
		ロ ー プ 取 扱 技 術			
		救 助 操 法			
	効 果 測 定	1			
	機 器 取 扱 訓 練	消 防 機 器 の 概 要	55	44	
		各 種 資 機 材 の 諸 元 ・ 性 能 ・ 取 扱 要 領 ・ 保 守 管 理 要 領 等			
		車 両 点 検 要 領			2
消 防 機 器 見 学		8			
効 果 測 定	1				
消 防 活 動 応 用 訓 練	消 火 活 動 訓 練	85	84		
	救 助 活 動 訓 練				
	火 災 総 合 訓 練 (想 定 訓 練)				
	救 急 救 助 総 合 訓 練 (想 定 訓 練)				
	山 林 火 災 防 ぎ ょ 訓 練				
効 果 測 定	1				
372 時間	体 育	健 康 と 体 力	55	22	
		消 防 職 員 の 体 力 づ くり			
		運 動 の 生 理			
		ト レ ー ニ ング 計 画 の 立 て 方			
		ト レ ー ニ ング 要 領 と 実 践			
		障 害 の 予 防 、 疲 労 回 復 等			
		そ の 他			
		体 力 測 定			10
		熱 中 症 対 策			2
		プ ール 清 掃 ・ 溝 掃 除			4
水 泳	8				
水 難 救 助 訓 練	8				
効 果 測 定	1				

種 目	教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	
			時 間 数	時 間 配 分
その他	実 務 研 修	消 防 署 勤 務 実 習	40	40
	選 択 研 修	介 助 実 習 ・ 手 話	23	7
		無 線 資 格 講 習		16
	行 事 そ の 他	入 校 式 等	138	12
		校 歌 指 導		1
		面 談 等		8
		健 康 診 断 ・ 献 血		4
		施 設 見 学		4
		そ の 他 の 行 事		101
卒 業 式		8		
合 計			876時間	

(1) 消防職員
 イ 専科教育
 (ア) 特殊災害科第6期

実施期間 : 令和5年10月18日(水) ~ 令和5年10月26日(木)
 教育日数 : 9日
 教育時間 : 56時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
講 話		2	2	
特 殊 災 害 の 概 論		2	2	
危 険 性 物 質 等 に 係 る	危 険 性 物 質 等 の 基 礎 知 識	15	8	
基 礎 知 識 及 び 関 係 法 令	関 係 法 令		7	
特 殊 災 害 に 対 す る 消 防	危 険 性 物 質 災 害 に お け る 活 動 要 領	16	8	
活 動 要 領	特 殊 な 空 間 ・ 環 境 に お け る 活 動 要 領		8	
特 殊 災 害 に お け る	危 険 性 物 質 災 害 に お け る 安 全 管 理	5	3	
安 全 管 理	特 殊 な 空 間 ・ 環 境 に お け る 安 全 管 理		2	
図 上 訓 練		8	8	
効 果 測 定		2	2	
行 事 そ の 他		6	6	
合 計		56	56	

(1) 消防職員
 イ 専科教育
 (イ) 救急科第27期

実施期間：令和6年2月5日(月)～令和6年3月26日(火)
 教育日数：51日
 教育時間：272時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
救 急 業 務 及 び 救 急 医 学 の 基 礎	救急業務の総論及び医学概論	51	5	
	解 剖 ・ 生 理		30	
	社 会 保 障 ・ 社 会 福 祉		2	
	救 急 実 務 及 び 関 係 法 規		14	
応 急 処 置 の 総 論	観 察	72	25	
	検 査		8	
	応 急 処 置 総 論		10	
	応 急 処 置 各 論		21	
	救 急 医 療 ・ 災 害 医 療		8	
病 態 別 応 急 処 置	心 肺 蘇 生	67	10	
	シ ョ ッ ク ・ 循 環 不 全		8	
	意 識 障 害		8	
	出 血		6	
	一 般 外 傷		12	
	頭 部 、 頸 椎 (頸 髄) 損 傷		10	
	熱 傷 ・ 電 撃 傷		4	
	中 毒		3	
	溺 水		3	
	異 物 (気 道 ・ 消 化 管)		3	
特 殊 病 態 別 応 急 処 置	小 児 ・ 新 生 児	28	6	
	高 齢 者		6	
	産 婦 人 科 、 周 産 期		6	
	精 神 障 害		4	
	そ の 他 の 創 傷 の 処 置 等		6	
実 習 及 び 行 事	シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 実 習	54	24	
	病 院 実 習		7	
	指 導 員 研 修		10	
	効 果 測 定		9	
	行 事 等		4	
合 計		272	272	

(1) 消防職員
 イ 専科教育
 (ウ) 救助科第20期

実施期間：令和5年11月8日(水)～令和5年12月5日(火)
 教育日数：28日
 教育時間：152時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
講 話		1	1	
安 全 管 理	概 要	20	4	
	救助活動における安全管理		4	
	救助訓練における安全管理		4	
	危険予知訓練		8	
災 害 救 助 対 策	概 要	25	7	
	緊急消防援助隊		2	
	救助対策と活動事例		16	
救 急	外 傷 処 置	8	4	
	多数傷病者発生時の処置		4	
救 助 器 具 取 扱 訓 練	主要な救助器具の取扱い	21	21	
救 助 訓 練		30	30	
総 合 訓 練	想 定 訓 練	32	32	
健 康 管 理	体 力 管 理	4	1	
	精 神 衛 生		3	
効 果 測 定	学 科 考 査 ・ 実 技 考 査	5	5	
行 事 そ の 他		6	6	
合 計		152	152	

(1) 消防職員
 ウ 幹部教育
 初級幹部科第22期

実施期間：令和6年1月9日(火)～令和6年1月19日(金)
 教育日数：11日
 教育時間：72時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
講 話		1	1	
訓 練 礼 式	点 検	2	1	
	礼 式		1	
消 防 時 事	消 防 行 政 の 現 状 と 課 題	8	8	
消 防 財 政		3	3	
人 事 業 務 管 理		12	12	
安 全 管 理		10	10	
現 場 指 揮		18	18	
事 例 研 究	実 務 研 究 課 題 討 議	15	15	
行 事 そ の 他		3	3	
合 計		72	72	

(1) 消防職員
 エ 特別教育
 (ア) 無線通信教育

実施期間：令和5年5月11日(木)、令和5年5月12日(金)
 教育日数：2日
 教育時間：11時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
法 規		5	5	
無 線 工 学		4	4	
修 了 試 験		2	2	
合 計		11	11	

(1) 消防職員
 エ 特別教育
 (イ)潜水救助教育第6期

実施期間:令和5年9月28日(木)～令和5年10月12日(木)
 教育日数:15日
 教育時間:80時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
潜 水 救 助 理 論		1	1	
潜 水 救 助 資 器 材 取 扱 い		1	1	
安 全 管 理		3	3	
潜 水 計 画		1	1	
基 礎 訓 練		30	30	
応 用 訓 練		30	30	
実 技 効 果 測 定		6	6	
学 科 効 果 測 定		1	1	
事 例 研 究		3	3	
行 事 そ の 他		4	4	
合 計		80	80	

(1) 消防職員
 エ 特別教育
 (ウ) 消防操法指導員教育第3期

実施期間: 令和5年12月14日(木)、令和5年12月15日(金)
 教育日数: 2日
 教育時間: 16時間

教 科 目	教科細目	時 間 数	時間配分	備 考
ポンプ操法の基準等		2	2	
小型ポンプ操法の実施要領		4	4	
ポンプ車操作の実施要領		6	6	
行 事 そ の 他		4	4	
合 計		16	16	

(1) 消防職員
 エ 特別教育
 (エ)救急隊長教育第3期

実施期間 : 令和6年1月30日(火)、令和6年1月31日(水)
 教育日数 : 2日
 教育時間 : 16時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
救 急 業 務 管 理	救急実務及び関係法規	5	5	
安 全 管 理	安全対策とコミュニケーション	4	4	
現 場 指 揮		3	3	
行 事 そ の 他		4	4	
合 計		16	16	

(2) 消防団員
 ア 専科教育 機関科第11期

実施期間 : 令和5年12月16日(土)、令和5年12月17日(日)
 教育日数 : 2日
 教育時間 : 16時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
講 話		1	1	
道 路 交 通 関 係 法 令		1	1	
緊 急 走 行 要 領		2	2	
ポ ン プ 運 用		8	8	
機 関 整 備		3	3	
行 事 そ の 他		1	1	
合 計		16	16	

(2) 消防団員

イ 幹部教育 指揮幹部科

(ア) 現場指揮課程 第7期

(イ) 分団指揮課程 第5期

実施期間：令和5年10月30日(月)、令和5年10月31日(火)

教育日数：2日

教育時間：16時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
講話・現場指揮・安全管理		0	0	特 例 適 応
防 災		0	0	特 例 適 応
講話・現場指揮・安全管理		1	1	
火 災 防 ぎ よ 訓 練		2	2	
水 災 活 動 訓 練		1	1	
救 助 ・ 救 命 訓 練		1	1	
避 難 誘 導 訓 練		1	1	
災害情報収集・伝達訓練 災害対応図上訓練		4	4	
地 域 防 災 指 導 訓 練		1	1	
事 例 研 究		4	4	
行 事 そ の 他		1	1	
合 計		16	16	

備考

上記各課程は、同一学生2日間で実施することとし、重複している教科は統一し時間短縮、夜間及び早朝授業等において不足時間を充足、更に分団指揮課程の教科において「消防学校の教育訓練の基準」の特例を適用し「講話・現場指揮・安全管理」及び「防災」の各教科を事前学習及び効果測定の実施をもって受講に代える。

(2) 消防団員
 ウ 特別教育
 (ア) 基礎教育第10期、11期

実施期間 : 令和5年10月15日(日)、令和5年12月10日(日)
 教育日数 : 各1日
 教育時間 : 8時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
消 防 組 織 等		1	1	
訓 練 礼 式		1	1	
警 防 訓 練		4	4	
行 事 そ の 他		2	2	
合 計		8	8	

(2) 消防団員
 ウ 特別教育
 (イ) 自然災害対応教育第5期

実施期間 : 令和5年10月29日(日)
 教育日数 : 1日
 教育時間 : 8時間

教 科 目	教科細目	時 間 数	時間配分	備 考
概 論		1	1	
自 然 災 害 対 応 訓 練		6	6	
行 事 そ の 他		1	1	
合 計		8	8	

(3) 特別教育
自衛消防隊 幹部教育第12期

実施期間：令和6年1月23日(火)～令和6年1月26日(金)
教育日数：4日
教育時間：32時間

教 科 目	教 科 細 目	時 間 数	時 間 配 分	備 考
基 礎 教 育	講 話	4	1	
	訓 練 礼 式		3	
実 務 教 育	地 震 対 策	14	2	
	危 機 管 理		2	
	防 災 対 策		2	
	火 災 防 ぎ よ		2	
	現 場 指 揮 ・ 安 全 管 理		6	
実 科 訓 練	消 火 訓 練	8	4	
	救 急 救 助 訓 練		4	
そ の 他	行 事	6	6	
合 計	合 計	32	32	

4 教育種別毎の入校対象者

区 分	教 育 種 別		入 校 対 象 者	
消防職員	初 任 教 育		新たに採用された消防職員	
	専科教育	特 殊 災 害 科	現任消防職員	
		救 急 科	新たに救急業務に従事することとなる消防職員	
		救 助 科	現任消防職員	
	幹部教育	初 級 幹 部 科	原則、消防士長及び消防副士長の階級にある者	
	特別教育	無 線 通 信 教 育		現任消防職員
		潜 水 救 助 教 育		潜水士免許取得者
		消 防 操 法 指 導 員 教 育		現任消防職員
		救 急 隊 長 教 育		原則、救急隊長の職にある者
	消防団員	専科教育	機 関 科	現任消防団員
幹部教育		指 揮 幹 部 科 現場指揮課程、分団指揮課程	部長と同等の実務経験がある班長以上の階級にある者	
特別教育		基 礎 教 育		消防団員としての経験が短い消防団員
		自 然 災 害 対 応 教 育		現任消防団員
特別教育	自衛消防隊教育	幹 部 教 育	事業所の自衛消防隊幹部	
	その他の特別教育			

5 令和5年度 入校経費（見込額）

（単位：円）

（ ）内は前年度又は前回の経費

区分	教育種別	入校経費	左 の 内 訳					備考	
			食費	図書教材費	共益費	校外訓練研修費等	無線資格取得経費		
消防職員	初任教育（第47期）	384,700 (384,700)	172,900 (172,900)	65,100 (65,100)	59,100 (59,100)	62,400 (62,400)	25,200 (25,200)	寮泊 毎年度実施	
	専科教育	特殊災害科（第6期）	22,400 (22,400)	10,500 (10,500)	5,000 (5,000)	6,900 (6,900)			寮泊 前回、平成30年度
		救急科（第27期）	111,100 (111,100)	56,900 (56,900)	29,000 (29,000)	21,800 (21,800)	3,400 (3,400)		寮泊 毎年度実施
		救助科（第20期）	56,800 (44,100)	31,700 (31,700)	11,200 (5,200)	13,900 (7,200)			寮泊 前回、令和3年度
	幹部教育	初級幹部科（第22期）	28,800 (20,000)	14,500 (8,600)	6,800 (4,400)	8,500 (7,000)			寮泊 前回、令和元年度
	特別教育	無線通信教育	27,000 (27,000)	1,300 (1,300)		500 (500)		25,200 (25,200)	通学 毎年度実施
		潜水救助教育（第6期）	39,100 (39,100)	15,300 (15,300)	9,500 (9,500)	9,200 (9,200)	5,100 (5,100)		寮泊 毎年度実施
		消防操法指導員教育（第3期）	5,800 (5,800)	2,600 (2,600)	2,000 (2,000)	1,200 (1,200)			寮泊 前回、令和元年度
		救急隊長教育（第3期）	5,400 (1,400)	2,600 (600)	1,600 (800)	1,200 (0)			寮泊 毎年度実施
	消防団員	専科教育	機関科（第11期）	5,800 (5,800)	2,600 (2,600)	2,000 (2,000)	1,200 (1,200)		
幹部教育		指揮幹部科 現場指揮課程（第7期） 分団指揮課程（第5期）	5,800 (5,800)	2,600 (2,600)	2,000 (2,000)	1,200 (1,200)			寮泊 毎年度実施
特別教育		基礎教育（第10、11期）	1,400 (1,400)	600 (600)	800 (800)				各1日（通学） 毎年度実施
		自然災害対応教育（第5期）	1,400 (1,400)	600 (600)	800 (800)				1日（通学） 毎年度実施
特別教育	自衛消防隊幹部教育（第12期）	14,300 (14,300)	6,600 (6,600)	1,700 (1,700)	6,000 (6,000)			寮泊 前回、平成29年度	

（注）○ 上記の経費は、情勢により変更することがあります。

○ 各教育とも入校及び本部連絡等の交通費（旅費）は含んでいません。

○ 各教育とも休日（土曜日、日曜日、休校日）の食費並びに休日の前日、金曜日の夕食及び休日の翌朝の食費は含んでいません。

6 入校申込要領等

(1) 入校申込要領等

任命権者（消防長、消防団長等）は、「別表 入校手続事務処理要領」に基づき、教育課程に必要な関係書類を入校申込受付締切日までに提出してください。

なお、申込みに際し事前の連絡は原則、行いません。

ア 提出書類

別紙様式のとおり。

- ① 入 校 申 込 書（別記第1号様式）
- ② 履 歴 書（別記第2号様式 教育内容に応じ）
※写真については、別紙「8その他」を参照
※職歴については、各消防本部での階級昇任ごとの年月を記載
- ③ 入校学生名簿（様式第1号:初任教育、第2号:初任教育を除くすべての教育）エクセルデータのみを下記代表メールに送付してください。送付要領は別紙参照。なお、紙ベースでの提出は必要ありません。
- ④ 事例討議資料（様式第3号）
- ⑤ 健康診断書（様式第4号）※別紙「8その他」を参照

(2) 入校者の決定

入校申込書等が到着後、「別表 入校手続事務処理要領 入校決定予定日」までに決定し、関係機関に入校承認の通知を行います。

(3) 入校受付

原則、入校日の8時45分から9時30分まで、宿泊棟（誠心寮）玄関において行いますが、教育により変更する場合があります。その際は、事前に連絡をいたします。

初任教育については、入寮日の13時00分から14時00分まで屋内訓練場で、無線通信教育については、講習日の8時10分から8時30分まで教育管理棟玄関において行います。

(4) 入校経費

「5入校経費」のとおり

※請求書を必要とされる場合は、副校長までメールまたはFAXにてお願いします。

代表 mail:e0109011@pref.wakayama.lg.jp FAX:073-459-0039

(件名に【入校経費請求書】と冠称願います。)

その他

- (1) 入校中の食事は、学校で用意します。
(入寮日の昼食から卒業（修了）日の昼食まで。)
- (2) 服装、頭髪等は端正にして入校してください。
- (3) 車両の乗り入れについては、各所属において事前に許可取っておいてください。
(学校への書類の提出は必要ありません。初任教育を除く)
- (4) 教育期間中健康管理のため、常備薬等を準備してください。
- (5) 遠隔地等特別な理由がある場合は、教育訓練日前日の寮宿泊を認めることとしています。(入校日の前日は、認めません)
- (6) 記録媒体を持参する場合は、必ず新品（準備できない場合はライブアップデート後にウイルスチェックしたもの）を持参するようにしてください。学校内で使用する場合は必ず職員へ申し出てください。
- (7) 教育期間中に限らず、教育に関する画像及び動画、内容等をSNS等へ投稿することは原則、禁止します。
- (8) 校内の車両走行については、20Km/h以下の速度で走行してください。

別表6-1

令和5年度 入校手続事務処理要領

区分	教育課程		入校申込受付締切日	入校決定予定日	提出書類							
					別記第1号様式	別記第2号様式 (消防職員用)	別記第2号様式 (消防職・団員を除く)	様式第1号	様式第2号	様式第3号	様式第4号	
消防職員	初任教育(第47期)		令和5年 2月24日(金)	令和5年 3月10日(金)	○	○		○			○	
	専科教育	特殊災害科(第6期)	令和5年 9月 1日(金)	令和5年 9月15日(金)	○	○			○	○		
		救急科(第27期)	令和5年12月22日(金)	令和6年 1月12日(金)	○	○			○			
		救助科(第20期)	令和5年 9月29日(金)	令和5年10月13日(金)	○	○			○	○		
	幹部教育	初級幹部科(第22期)	令和5年11月24日(金)	令和5年12月 8日(金)	○	○			○			
	特別教育	無線通信教育		令和5年 3月31日(金)	令和5年 4月 7日(金)	○	○			○		
		潜水救助教育(第6期)		令和5年 8月18日(金)	令和5年 9月 1日(金)	○	○			○	○	○
		消防操法指導員教育(第3期)		令和5年11月 2日(木)	令和5年11月17日(金)	○	○			○		
救急隊長教育(第3期)		令和5年12月 8日(金)	令和5年12月22日(金)	○	○			○				
消防団員	専科教育	機関科(第11期)	令和5年11月 2日(木)	令和5年11月17日(金)	○				○			
	幹部教育	指揮幹部科 現場指揮課程(第7期) 分団指揮課程(第5期)	令和5年 9月15日(金)	令和5年 9月29日(金)	○				○			
	特別教育	基礎教育(第10期)		令和5年 9月 1日(金)	令和5年 9月15日(金)	○				○		
		基礎教育(第11期)		令和5年10月27日(金)	令和5年11月10日(金)	○				○		
		自然災害対応教育(第5期)		令和5年 9月15日(金)	令和5年 9月29日(金)	○				○		
特別教育	自衛消防隊 幹部教育(第12期)		令和5年12月 8日(金)	令和5年12月22日(金)	○		○		○			
	その他の特別教育											

- ※ 入校者がいない場合は、FAX又はメールでその旨ご連絡下さい。 ※ 申込み書類に不備がある場合は、入校決定日が遅れることがあります。
 ※ 無線通信教育については、上記以外に住民票又は戸籍抄本を1部、写真3枚が必要です。写真については別紙「8その他」を参照して下さい。

事 務 連 絡
令和元年 7月26日

県内各消防本部（局）担当者様
県内市町村 担当者様

和歌山県消防学校

和歌山県消防学校入校申込要領について

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、当校の教育訓練に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、標記につきまして下記のとおりとさせていただきますので御理解、御協力を
お願いいたします。

記

令和元年10月1日以降に開催するすべての教育入校申込データ（様式第1号・
様式第2号：エクセル）は、学校代表メール「e0109011@pref.wakayama.lg.jp」
に送付してください。

なお、件名を 【入校申込】〇〇〇消防本部（〇〇〇市町村）消防職員（消防団
員）〇〇〇科（第〇期）（〇〇〇教育（第〇期））に統一していただきますようお願い
いたします。

例1 【入校申込】加太消防本部 消防職員 警防科（第17期）

例2 【入校申込】加太町 消防団員 基礎教育（第7期）

※すべて全角でお願いします。

また、従前からお知らせしているとおり、事前連絡はいたしませんので和歌山県
教育訓練実施要領に基づき処理していただき、お申込を失念されませんよう御注意
ください。以上よろしくお願いいたします。

【要領・様式はホームページから DL できます】

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011600/shoubougakkou/index.html>

8 その他

1 写真について

- (1) 縦45mm、横35mmの大きさのカラー写真であること。(デジタル写真でも可能)
- (2) 正面、無帽、無背景、上三分身像とする。(消防職員は制服、その他の方は作業着、スーツ等)
- (3) 最近6か月以内に撮影したもの。(履歴書の所定欄に貼り付けること。)

※無線通信教育は無線資格取得用に、縦30mm×横24mmの写真が3枚必要。

なお、(2)に加えて、フチなしとする。(初任教育入校予定者は入校後に撮影)

2 健康診断書について

(1) 初任教育

医療機関で発行された健康診断書 (写し可、異常所見がある場合は消防学校での生活に問題ない旨の記載が必要) 又は、採用時等に提出された医療機関発行の診断書及び定期健診等の結果を基に、所属長が判断した健康診断書(様式第4号)のいずれかを提出すること。

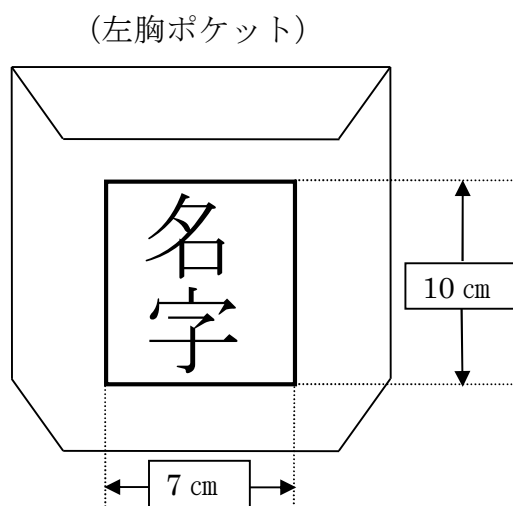
(2) 潜水救助教育

医療機関で発行された健康診断書 (写し可、異常所見がある場合は消防学校での生活に問題ない旨の記載が必要) 又は、定期健診等の結果を基に、所属長が判断した健康診断書(様式第4号)のいずれかを提出すること。

3 活動服について(消防団員に係る教育を除く)

上衣左胸ポケットに名札を取り付ける。

- (1) 名札の材質は、比較的厚い白の布地を使用すること。
- (2) 油性の黒フェルトペンで、楷書体で太く大きく書くこと。
- (3) 強固に縫い付けること。



入 校 申 込 書

年 月 日

和歌山県消防学校長 様

任命権者

㊟

貴校の

教育

第

期に

下記の者を入校させたいので、関係書類を添付の上、申し込みます。

記

階 級

氏 名

履 歴 書

(消防職員用)

所 属	消防本部 (局)	写 真 貼 付 欄 縦 45 mm × 横 35 mm
部 署	TEL	
ふり 氏 がな 名	⑩	
階 級 職 名	階級	職名
生 年 月 日	年 月 日生 (満 歳)	
本 籍 地	(都道府県名のみ記入)	
現 住 所	〒 TEL	
消 防 学 校 履 修 歴	年 月 初任教育 科 課程 期卒 (卒業) 年 月 教育 科 課程 期卒 (修了) 年 月 教育 科 課程 期卒 (修了)	

最 終 学 歴	
職 歴	年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 (消防歴 年 月)
資 格 技 能	
上記のとおり相違ないことを証明する。 年 月 日 消防長 氏名	
⑩	

履 歴 書

（消防職・団員を除く）

所 属		写 真 貼 付 欄 縦45mm×横35mm
部 署	TEL	
ふり 氏 名	がな 名 ⑩	
職 名	職 名	
生年月日	年 月 日生（ 歳）	
現住所	〒 TEL	
主な職歴	年 月 年 月	
上記のとおり相違ないことを証明する。 年 月 日 所属長 氏名 ⑩		

入校学生名簿(初任教育)

機関名: _____
 担当者: _____
 電話番号: _____

所 属	階 級	氏 名	フリ ガ ナ	性 別	拜 命 年 月	生 年 月 日	年 齢	身 長 (c m)	体 重 (K g)	靴 (c m)	トレーニング ウェア		皮 手 袋	防 火 手 袋	住 所	自 宅 電 話 番 号	携 帯 電 話 番 号	救 命 士	最 終 学 歴					自 動 車 免 許				最 終 学 歴	(資 格 技 能 等) 備 考				
											上 衣	ズ ボン							大 卒	短 大 卒	専 卒	高 専 卒	高 卒	大 型	中 型	準 中 型	(5t 限定) 準 中 型			普 通			
1	加太市消防局	消防士	和歌山 太郎	ワカヤマ タロウ	男	H27.4.1	H2.8.1	26	180.5	80.3	27.5	L	L	M	M	和歌山県加太市 1234番地	073-123-4567	090-1234-5678	○													加太医療専門 学校	潜水士・玉掛け・小型移 動式クレーン・危険物乙 種四など
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	

- ※ 代表メール宛てエクセルデータで提出して下さい。
- ※ 身長・体重・靴の各サイズについては小数点第1位まで記入して下さい。(物品購入に使用します。)
- ※ 年齢は、入校日を基準としてください。

入校学生名簿(初任教育を除くすべての教育)

機関名: _____

担当者: _____

電話番号: _____

教育名【 _____ 】

	所 属	階 級	氏 名	フリ ガ ナ	性 別	拝 命 年 月	生 年 月 日	年 齢	住 所	自 宅 電 話 番 号	携 帯 電 話 番 号	救 命 士
	記入例											
1	加太市消防局	消防司令	和歌山 太郎	ワカヤマ タロウ	男	H27.4.1	H2.8.1	26	和歌山県加太市1234番地	073-123-4567	090-1234-5678	○
2												
3												
4												
5												

※ 代表メール宛てエクセルデータで提出して下さい。

※ 年齢は、入校日を基準としてください。

事例討議資料

教育 科(第 期)

所属消防本部		階級		氏名	
内 容	体験発表(現場・訓練) 研究発表(検証) その他(情報交換等)				
テーマ					
消防職員歴	年	入校する教育課程の 業務歴(幹部教育除く)	年	主たる業務	

(注) この資料は、講義に使用する場合がありますので内容等が十分理解できるように記載すること。

健康診断書

所 属					
氏 名		性別		生年月日	年 月 日
住 所					
現 病 及 び 既 往 症 等					
特 記 事 項					

上記の者については、 年 月 日に受検した健康診断の結果、健康状態が
入校する教育訓練課程に支障ないことを証明します。

年 月 日

所 属 長 名

⑩



和歌山県消防学校案内図



交通アクセス

